

学士課程教育の実習化 授業・学習活動の進化とポートフォリオ
～学生への「自学自習」支援による「総合力」の育成～

開催日時：2009年4月24日(金) 9:40～16:50

開催場所：剛堂会館ビル(明治薬科大学)1階会議室

報告者：経済学部准教授 碓井 健寛

1. 自己成長型教育「アクロノール・プログラム」KIT ポートフォリオシステムの全学的展開と修学支援 金沢工業大学 藤本元啓氏

- ポートフォリオ導入の問題意識 ⇒ 金沢工業大学人間力「社会に適應できる能力」
 - ◇ 学生の平均的傾向：基礎を嫌う，マニュアル主義，結果重視，ストレスコントロールが弱い
 - ◇ 中教審の答申：大学教育の実質化，出入り口の管理など
 - ◇ 人間力，社会人基礎力，就職基礎能力など省庁は多様な提案
- ポートフォリオ導入
 - ◇ **科目内でポートフォリオを行う⇒まず形を覚えさせる**
 - ◇ 「修学基礎」という科目で実施，1コマ目に実施(8時40分スタート)，1クラス40～60名，H16年度からスタート
 - ◇ 学生に書かせる内容(以下のことを繰り返しやらせる必要があると考えた)
 - 1週間の行動履歴； 課題にかかった時間； 施設利用の履歴； 遅刻はなぜしたか？； 健康管理の履歴； 睡眠時間； 1週間の気づいたことを毎週200字で書かせる
 - ◇ **電子媒体でやると，教員の顔が見えない⇒紙媒体で提出させそれを返却する・・・互いの顔が見えるように**
- アンケート結果による検証
 - ◇ **平均の満足度アンケート・・・年を経るごとに増加**
 - ◇ **教員の熱意・・・評価が年を経るごとに増加**
- ポートフォリオ導入の問題点
 - ◇ 全ての先生が行うわけではない⇒そういう場合は教員を交代させた
- ポートフォリオによって得られる効果
 - ◇ **実在の修学モデルをオープンキャンパスやキャンパスガイドで提示できる**
 - ◇ 保護者会の手元資料として利用できる
 - ◇ **大学のことを両親に話す機会が増えた**
 - ◇ 1年生と上級生のコミュニケーションができる
- 金沢工業大学の修学支援について
 - ◇ 授業時間外勉強時間の工夫（学生自らが学べる仕掛け(教育環境)）； 情報コ

ンセントの設置(食堂, テラスなどにも); 自習室を 24 時間 365 日解放; 達成度別クラス編成; 教育センター, センター所属の教員(半数が常駐); ライティングセンターの設置(1 年次 3 回利用, 常駐の選任は 2 人, 非常勤に中・高の国語の先生で定年(20 名)); 学習支援デスクの設置(数学などサポート)

- アウトカムはどのように評価するか?
 - ◇ 学長褒賞受賞者が年々増えている(創大のダヴィンチ賞のようなもの)・・・評価基準は成績が優秀, レポートが良さ, プレゼンの良さ, GPA, クラブ活動の成果, ボランティアなど; 科目担当者が学生を推薦する; インセンティブは 1500 円学内プリペイドカード, 年に 10000 件未満
 - ◇ **ポートフォリオ導入後, GPA が 1 年次から 2 年次になる際に平均的に増加・・・**実施前は学年が経るごとに減少傾向だった(要因分析はしていない)
- 大学全体としての教職員の共通認識
 - ◇ 教員の仕事時間の配分を学長が提示(教育 50, 研究 30, 他の貢献 20)
 - ◇ 教員は学生のために, 職員は教員のためでなく学生のためという意識
- Q&A
 - ◇ 心の問題への体勢は?⇒8 名でカウンセリングセンターのチームを組む
 - ◇ SA の資格は?⇒3, 4 年生が担当, 1 年生の科目の補助で教室には入れない, 資格は学長褒賞経験者, 大学院進学予定者
 - ◇ 入力するための開発のコストは?⇒関連子会社ソフトウェアを開発。自己設計。既製品を使うのは難しい。修正が困難だから。2000 万円の開発費, メンテナンス費用は不明, 自宅からでも LAN に接続可能
 - ◇ 統計的な分析を専門で行う **IR 機能**は金沢工業大学にあるのか?⇒まだない
 - ◇ 総合アンケートはどの組織が解析しているのか?⇒CS(カスタマーサービス室・専門家)に外注; アンケート実施はいつ?⇒入学時に, それ以外は年度末, 就職先, **就職企業へも郵送して追跡調査(アウトカムの評価のためか)**

2. 学習到達目標と E ポートフォリオの活用～学士課程教育における学びの教育の「見える化」に向けて～ 帝塚山大学経済学部 岩井洋氏

- 学習到達目標とは?
 - ◇ 何を学ぶか, ではなく, 「何ができるようになるか」を段階的に明示したもの
 - ◇ アウトカム・・・成果とは異なる。到達目標があつてそれに準拠した学びではないか?認証評価でも考慮されていると考えている(報告者の見解)
- E ポートフォリオの活用の先行事例
 - ◇ 帝塚山大学の TIES の紹介
 - ◇ IUPUI というアメリカの大学の例(ポートフォリオで知名度が高い)
- 学びと教育の「見える化」企業・・・経営の世界でよく使われる

- ◇ 見える化(見える化)とは可視化・共有化し業務改善の仕組み
 - 例) 大学パンフレットも見える化のひとつ
- ◇ 暗黙知から形式知への変換
 - 例) 名古屋大学の TIPS くん, 教え方, 大学教員の教え方のハウツー本・・・ノウハウのデータベース化(授業参観など)
- アセスメント：目標についてデータを集める
 - ◇ アメリカの多くの大学が IR センターをもつ ⇒ 主任研究員と大学院生 2, 3人で日夜データを取っている
- Q&A
 - ◇ 学内での統計データによる評価(アセスメント)の工夫は?⇒新入生全員に同意書をとる用途を明確にする。教育改善のため, 学習支援のためということをうたう。これで法的にはクリアしていると考える(弁護士と相談した)

3. ラーニングポートフォリオ～役割と実践, 作成と評価, 導入シナリオ 弘前大学 土持ゲーリー法一氏

- ラーニングポートフォリオとは
- 共同学習の意義
 - ◇ 学生はピアプレッシャーに弱い・・・やっけない学生は針のむしろ
- 図書館の利用促進のために
 - ◇ 図書探索クイズ・・・論文の検索を試行錯誤で⇒論文指導につなげる